

# 三菱UFJ チャイナオープン

追加型投信／海外／株式

## 上昇基調が強まる香港市場

### ファンド レポート

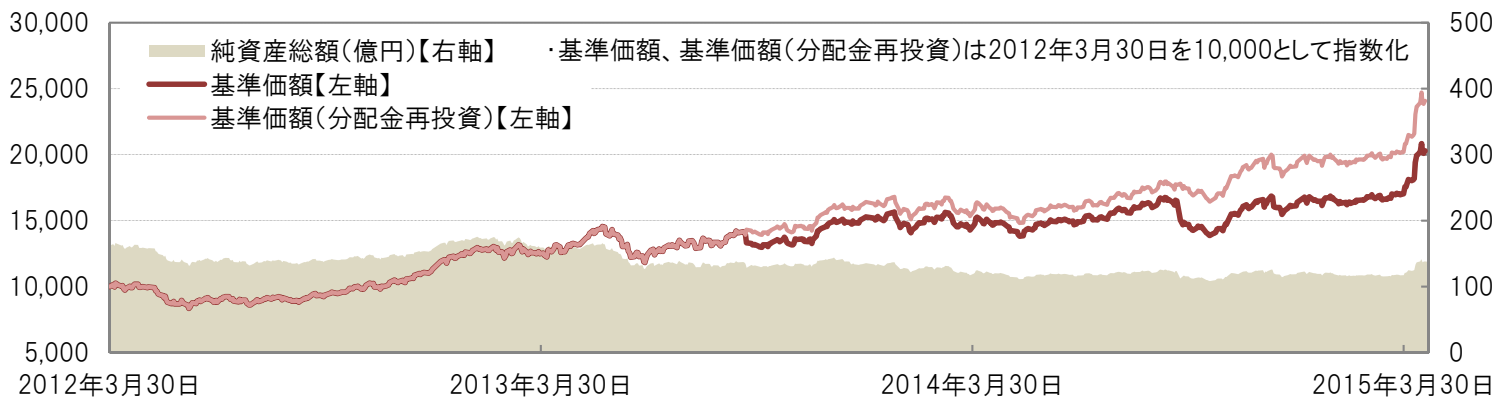
平素は「三菱UFJ チャイナオープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中国では株式市場の規制緩和が進み、中国本土(上海)と香港で双方向の株式投資が2014年11月17日にスタートしており、中国では今後もさらなる規制緩和によって株式投資が活性化し株価が堅調に推移することが期待されています。

そこで、中国の株式市場の足下の状況や市場環境ならびに当ファンドの運用状況と今後の見通し等についてのレポートを作成いたしました。

当ファンドにおきましては、引き続き香港市場等に上場する中国関連銘柄を中心に投資し、キャピタルゲインの獲得をめざしてまいりますので、今後とも当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

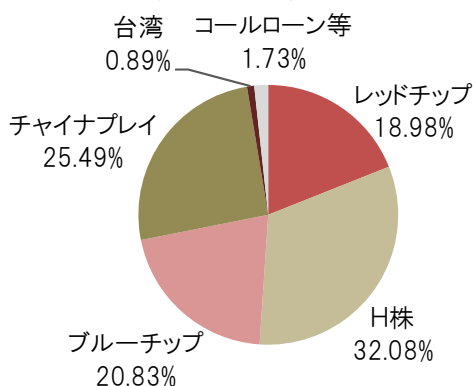
### 過去3年の基準価額(指数化)の推移(期間:2012年3月30日～2015年4月17日)



・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。  
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

### 当ファンドの投資対象先(2015年3月31日現在)

#### 【投資対象別組入比率】



#### 【投資対象市場】

主要投資対象市場	投資対象銘柄群	
香港取引所	ブルーチップ	ハンセン指数を構成する優良企業の株式
	チャイナプレイ	中国本土内に収益基盤を持つ企業の株式
	レッドチップ	中国政府系機関の資本傘下にある香港上場企業の株式
上海証券取引所	H株	香港市場に直接上場している中国の国有企業等の株式
深セン証券取引所	B株	上海市場に上場している中国企業の米ドル建株式
	B株	深セン市場に上場している中国企業の香港ドル建株式

・比率は純資産総額に対する割合です。  
・上記投資対象銘柄群の「ブルーチップ」「チャイナプレイ」は委託会社による区分です。「チャイナプレイ」とは、主な収益源が中国本土内にある企業の株式を指す通称です。  
・中国本土内の株式市場(上海および深セン)に上場している株式のうち、外国人が投資できる株式は、原則としてB株に限定されています。このため流動性が高く、しかも上場基準も厳しい香港市場の中国関連銘柄(H株、レッドチップ、その他香港市場に上場している中国関連銘柄)が投資の中心となります。  
・主として香港市場の中国関連銘柄に投資しますので、投資する通貨は主に香港ドルとなります。  
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

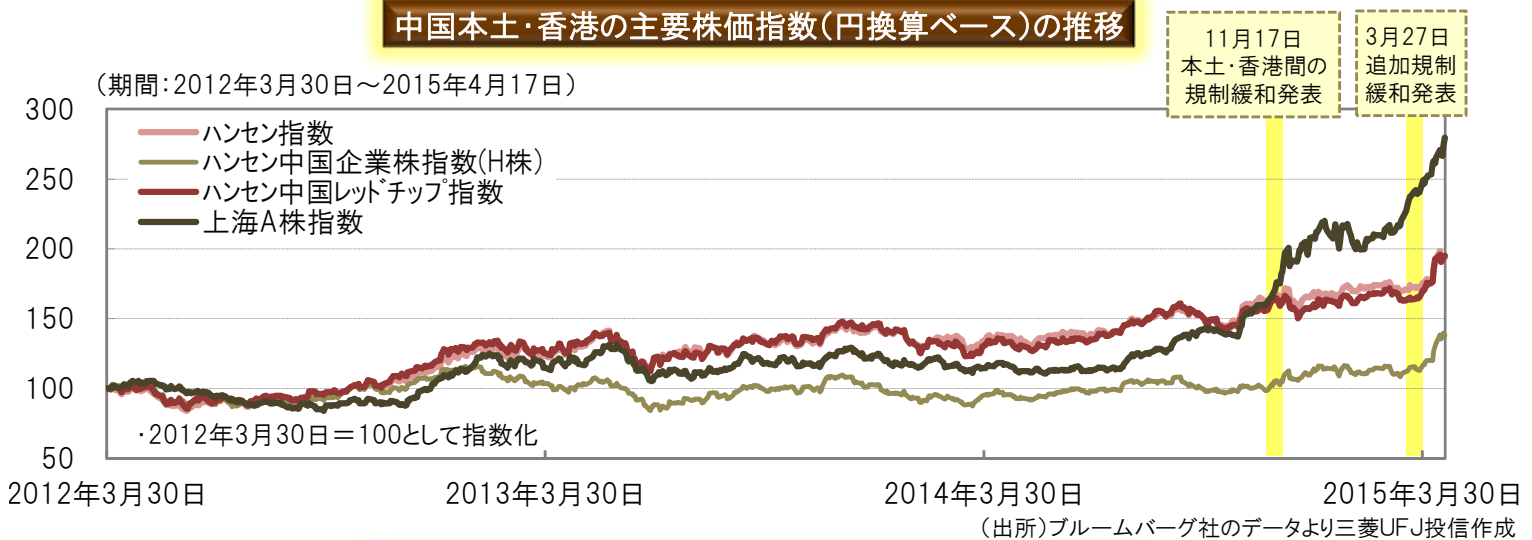
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。 1/9

中国本土・香港株式市場の状況

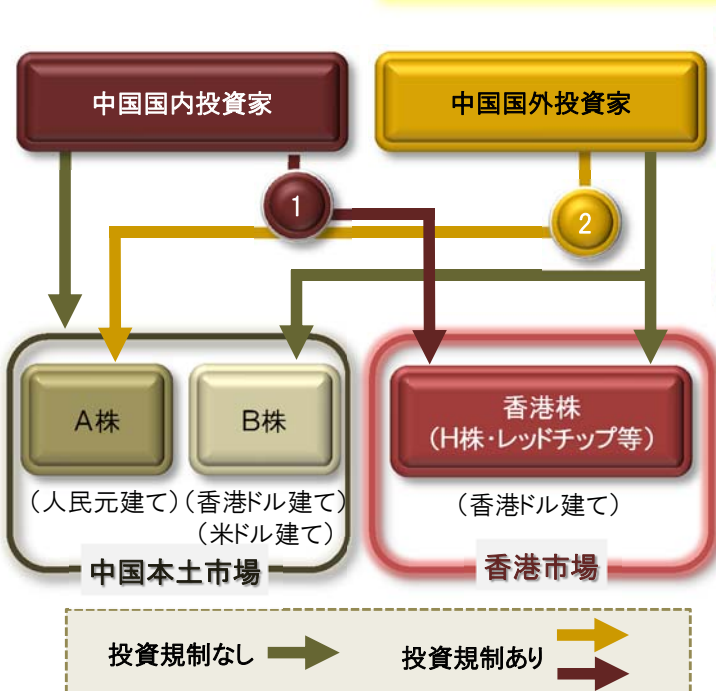
2014年11月17日に、香港の投資家による中国本土(上海)株式市場への投資と中国国内投資家による香港株式市場への投資の規制が緩和されました。この規制緩和のスタート以来、中国国内外から上海市場を中心とした中国本土市場へ資金流入が続き、上海A株等の株価が大きく上昇しました。その一方で、香港では2014年半ばよりデモが激化し香港経済の先行きに対して不透明感が増したことを背景に、香港株式市場は相対的に緩やかな上昇に留まったため、中国本土株式市場と香港株式市場に大きな乖離が生じました。

しかし、2015年3月27日に中国規制当局が、中国本土の資産運用会社に香港市場への証券投資を認める追加的な規制緩和を発表したこと等を受けて、香港市場は4月上旬に大きく上昇しました。

中国本土・香港の主要株価指数(円換算ベース)の推移



中国本土・香港の株式市場の概要と投資規制



1 中国国内投資家による香港株への投資にはQDIIが必要  
 ■QDII(Qualified Domestic Institutional Investors)  
 適格国内機関投資家: 特定の条件の下で香港株の売買を認可された国内(中国国内)機関投資家。

2 中国国外投資家による中国本土株(A株)への投資にはQFIIの取得が必要  
 ■QFII(Qualified Foreign Institutional Investors)  
 適格国外機関投資家: 特定の条件の下でA株の売買を認可された機関投資家。

中国本土と香港の間で相互に株式投資の規制緩和が行われ、中国本土・香港の株式市場の活況化に期待。

(出所)各種資料より三菱UFJ投信作成

■上記は、過去の実績・状況です。本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用した指数について】をご覧ください。■計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

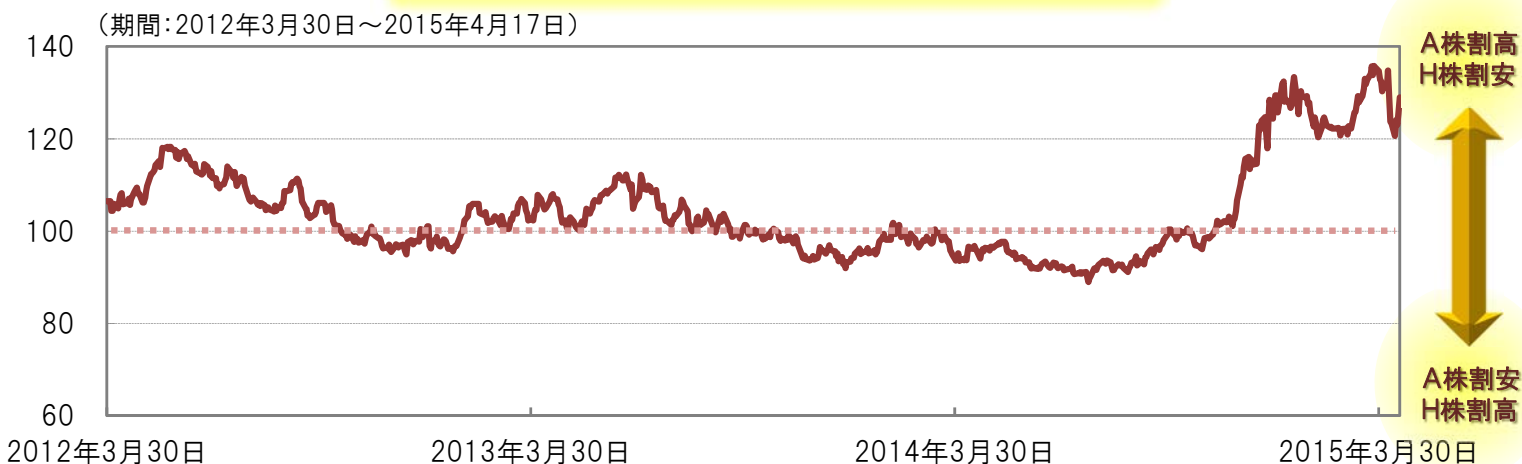
割安な状況が続く香港H株

中国本土市場ではA株として、香港市場ではH株として同時に上場している中国企業は多数ありますが、両市場の価格には差が生じています。この価格差をみるのが、ハンセン・チャイナ・AHプレミアム指数で、A株のH株に対するプレミアムの度合いがわかります。

2014年11月の規制緩和以降、A株のH株に対するプレミアムは急拡大し、A株の割高感が強まりました。足下では約129(2015年4月17日)とA株がH株よりも30%程度割高となっています。

中国本土市場と香港市場間の投資規制緩和は、現在中国の中央政府が注力する金融分野の構造改革のひとつであり、今後も中国本土市場と香港市場の間の障壁を取り除き投資を促すような規制緩和が続くことが見込まれ、割安に放置されているH株への注目が集まることが期待されます。

ハンセン・チャイナ・AHプレミアム指数の推移



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

当ファンドの足下の運用状況と今後の見通し・運用方針

当ファンドの基準価額は、2015年3月下旬以降香港株式が上昇基調を強めたことから、足下で大きく上昇しました。特に、2015年1月下旬にH株への投資比率を高めたことが、ファンドの基準価額上昇に寄与しました。

中国は経済成長が進み成熟してきた沿岸部と、依然として高成長が見込まれる内陸部との地域格差があり、全体としてみるとまだ成長の余地があると考えられ、当面年率7%程度の成長が続くと予想されています。

今後、中国政府の規制緩和を背景に中国本土から香港株式市場への資金流入が期待されていることに加え、依然として香港株式はバリュエーション(投資価値基準)で割安感があり、株価の上昇余地は大きいものと考えられます。

個別銘柄については、2015年3月末に発表のピークを迎えた企業決算を受けて、企業ファンダメンタルズの変化に注目しています。相対的に高い経済成長が安定的に継続する一方で、各企業が構造的な変化への対応を進めており、こうした変化に柔軟に対応し、かつ収益が拡大している企業に着目し、重点的に投資を進める方針です。

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。■ 上記は指数を使用しています。指数については、【当資料で使用した指数について】をご覧ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。 3/9



**三菱UFJ チャイナオープン**
**ファンドの目的・特色**
**■ファンドの目的**

香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、中華経済圏の発展の恩恵を受けるとされる企業の株式を中心に投資することにより、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。

**■ファンドの特色**

- ・香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。
- ・中華経済圏の発展の恩恵を受けるとされる企業の株式を中心に投資することを基本とします。
- ・外貨建資産については、為替変動リスクを軽減するため為替ヘッジを行うことがあります。
- ・組入銘柄の選定にあたっては、収益性、企業とその業界の成長性、財務の健全性、明確な経営戦略、情報開示スタンスのポイントに注目します。
- ・運用戦略または運用計画の立案にあたっては三菱UFJ投信の香港現地法人(Mitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limited)から投資助言・情報提供を受けます。

※変更予定日は未定ですが、今後QFIIライセンスを取得後、中国A株への投資を開始するため、信託約款の変更を予定しています。詳細は、後記の「追加的記載事項」および投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

**<主な投資制限>**

- ・株式への投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- ・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

**<分配方針>**

- ・年1回の決算時(9月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**投資リスク**
**■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**
**(価格変動リスク)**

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**(為替変動リスク)**

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**カントリーリスク**

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用	三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
加入協会	一般社団法人投資信託協会
	一般社団法人日本投資顧問業協会

**三菱UFJ チャイナオープン**
**投資リスク**
**■その他の留意点**

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。  
 ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

**■リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

**手続・手数料等**
**■お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位（ただし、1万口を上回らないものとします。） 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。ただし、香港取引所の半休日においては、午前11時30分までに受け付けたお申込みを当日のお申込みとします。
申込不可日	香港取引所の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2015年の該当日は（2月18日）、2月19日、2月20日、4月3日、4月6日、4月7日、5月1日、5月25日、7月1日、9月28日、10月1日、10月21日、（12月24日）、12月25日（（ ）は半休日）です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。 なお、1億口または1億円以上の換金のお申込みについては正午（香港取引所の半休日は午前10時）までにお問い合わせします。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2016年9月20日まで（1996年10月1日設定）
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年9月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**手続・手数料等**
**■ファンドの費用・税金**
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**
**お客さまが直接的に負担する費用**
**購入時**

購入時手数料	購入価額 × <b>3.24% (税抜 3%)</b> (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にご確認ください。
--------	--

**換金時**

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × <b>0.5%</b>
---------	---------------------------------

**お客さまが信託財産で間接的に負担する費用**
**保有期間中**

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × <b>年1.6416% (税抜 年1.52%)</b>
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**追加的記載事項**
**信託約款の変更予定について**

「三菱UFJ チャイナオープン」につきまして、以下の通り信託約款の変更を予定しています。

**1. 変更内容**

今後、QFIIライセンスを取得のうえ実質投資対象銘柄に中国A株(人民元建株式)を加える予定です。中国A株投資開始にあたっては、投資形態をファミリーファンド方式に変更します。

**2. 変更予定日**

変更予定日は未定ですが、今後QFIIライセンスを取得後、中国A株への投資を開始する際、信託約款を変更する予定です。

※1 QFII (Qualified Foreign Institutional Investors : 適格国外機関投資家) 制度とは・・・

一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについて中国証券監督管理委員会(CSRC)の認定を受け、かつ国家外貨管理局(SAFE)から投資限度額の認可を取得した国外の機関投資家に対して、中国証券市場への投資を認める制度です。

※2 中国A株とは・・・

中国人投資家と「適格国外機関投資家」の認定を受けた中国国外の機関投資家に限定されて流通している上海証券取引所または深セン証券取引所に上場されている人民元建ての株式です。

ファンドが投資助言・情報提供を受けているMitsubishi UFJ Investment Services(HK)Limitedが、三菱UFJ信託銀行の持分法適用関連会社である、申万菱信基金管理有限公司から中国A株に関する銘柄選定に資する投資助言・情報提供を受けるため、以下の通りファンドの特色に追加を予定しています。

・Mitsubishi UFJ Investment Services(HK)Limitedは、三菱UFJ信託銀行の持分法適用関連会社である、申万菱信基金管理有限公司から中国A株に関して投資助言・情報提供を受けます。

信託約款の変更に伴い、ファンドの特色に追加く「ファンドの仕組み」を予定しています。

・運用は主に中国A株マザーファンド(名称未定)および中国A株以外の中国株式等に投資するマザーファンド(名称未定)への投資を通じて、中国株式等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

信託約款の変更に伴い、以下の通り「投資リスク」の「その他の留意点」の追加を予定しています。

- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- ・人民元建ての株式への投資については、QFII制度上の回金規制の制約を受けます。また、中国政府当局により、対外収支状況などを理由として、中国国外への送金規制などが行われた場合には、信託財産の回金処理が予定通り行えない可能性があります。QFIIに対する課税上の取扱いについては中国課税当局より公表されておりますが、中国の証券関連の法令について、その解釈は必ずしも定まっておられません。QFIIに対する中国国内における課税の取扱いについては今後変更になることがあります。
- ※回金とは中国から日本への送金のことであり、回金規制は今後変更される可能性があります。

上記変更に伴い、「手続・手数料等」の「お申込みメモ」に記載しております、香港取引所の半休日に関する以下記載の削除を予定しています。変更予定日は、信託約款の変更と同時となります。

- ・「申込締切時間」における、『ただし、香港取引所の半休日においては、午前11時30分までに受け付けたお申込みを当日のお申込みとします。』の記載の削除。
- ・「換金制限」における、『(香港取引所の半休日は午前10時)』の記載の削除。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況や最近の市場動向をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

お客様専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**  
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<公式サイト> <http://www.am.mufig.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)





## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ チャイナオープン

商号	登録番号等	加入協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会
株式会社 池田泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	日本証券業協会
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号	日本証券業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	日本証券業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/ 一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	日本証券業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	日本証券業協会
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	日本証券業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	日本証券業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	日本証券業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
新潟証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	日本証券業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会



## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ チャイナオープン

商号	登録番号等	加入協会
ひろぎんウツミ屋証券株式会社(*)	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	日本証券業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/ 一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
豊証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第21号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会

※商号欄に(\*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。

### 【当資料で使用した指数について】

- **ハンセン指数**: ハンセン指数とは、香港取引所に上場している香港の主要銘柄の値動きを表す株価指数です。
- **ハンセン中国企業株指数(H株)**: ハンセン中国企業株指数(H株)とは、香港取引所に上場している中国(本土)企業などの株式(香港ドル建て)の値動きを表す株価指数です。
- **ハンセン中国レッドチップ指数**: ハンセン中国レッドチップ指数とは、中国本土外で設立・登記され香港取引所に上場している中国政府機関傘下の企業の株式(香港ドル建て)の値動きを表す株価指数です。
- **上海A株指数**: 上海A株指数とは、上海証券取引所が公表している株価指数で、上海証券取引所に上場している中国(本土)企業の株式(人民元建て)の値動きを表す指数です。
- **ハンセン・チャイナ・AHプレミアム指数**: ハンセン・チャイナ・AHプレミアム指数とは、上海株(A株)の香港株(H株)に対する割高(安)度を表す指数で、上海・香港両市場に重複上場している銘柄の株価をもとに算出されます。